

リコール社告は、消費者に危険性等のメッセージを伝え、危険回避のための行動をとってもらうことが最大の目的です。新聞社告やホームページへの社告は、告知方法の1つではありますが、新聞へのリコール社告を出す際に、より消費者にとって分かりやすいものとして伝え被害の未然防止に資するため、リコール社告JISを参考に、食品リコール(回収)における記載例を作成しましたので、ご活用下さい。

<食品のリコール社告の記載例>

できるだけ認知しやすくしましょう
(文字を反転、枠で囲む、太い文字)

一般の社告と区別できるように、タイトルに「自主回収社告」と入れましょう

どの食品をリコールするのかタイトルに会社名と商品名(または商品分類名など)を入れましょう

特に危険性(健康被害)がある場合には、その旨を明示しましょう

事故の概況、どのような危険があるのか、ある場合、喫食の中止を呼びかけましょう

自主回収社告(食品)

〇〇社(〇〇商品)

××アレルギー症状が生じる恐れ

弊社が製造している「〇〇(商品名)」において、原材料の一部に本来含まれていない「××」が含まれていました。

××アレルギーをお持ちの方は、当該商品をお召し上がりにならないようお願い申し上げます。

お客様のお手元に当該商品がございましたら、大変お手数ですが、送付先まで料金着払いで商品のご送付をお願いいたします。後日、お品代を返金させていただきます。

対象商品

イラスト

- ・対象商品の図、写真
- ・JANコード
- ・賞味期限(記載場所)
- ・問題箇所等を明示

どの商品かを速やかに特定しやすくするために、できるだけイラストを掲載しましょう

イラストの掲載が困難な場合は、掲載しているホームページへの案内を付けましょう

- ・販売地域 〇〇地方(又は全国)
- ・回収対象数 〇〇万個
- ・送付先 〇〇株式会社 商品回収係

電話 〇〇(〇〇)〇〇〇〇
住所 〒〇〇〇〇〇〇

- ・お問い合わせ先 〇〇株式会社 お客様相談係
- ・東京都〇〇区〇〇〇丁目〇番地

電話 0120(〇〇)〇〇〇〇(毎日〇時〜〇時)
FAX 0120(〇〇)〇〇〇〇

ホームページアドレス <http://www.oooooo.co.jp>

平成〇〇年〇月〇日

〇〇株式会社

複数の連絡先を記載しましょう

ホームページの掲載は、わかりやすい位置に社告へのリンク等を掲載したトップページに案内しましょう

前文の記載例文は、次ページへ

健康被害の有無については、科学的根拠に基づき判断しましょう

食品のリコール社告（前文）の記載例①

アレルギー物質の混入の例

（例1） ××アレルギー症状が生じる恐れ

弊社が製造している「〇〇（商品名）」において、原材料の一部に本来含まれていない「××」が含まれていました。

××アレルギーをお持ちの方は、当該商品をお召し上がりにならないようお願い申し上げます。

残留農薬基準超過の例

（例4） 残留農薬基準超過の恐れ

弊社が製造している〇〇茶「〇〇（商品名）」において、一部商品から基準値を超える残留農薬（××）が検出されました。

なお、当該商品は通常の摂取方法によりお飲み頂いても健康被害の恐れはございません。

異物混入の例

（例2） 異物（金属片）混入の恐れ

弊社が製造している「〇〇（商品名）」において、一部商品から金属片が商品に混入した恐れのあることが判明しました。お客様の〇〇を△△するような健康被害を及ぼす恐れがありますので、当該商品をお召し上がりにならないようお願い申し上げます。

（例3） 異物（プラスチック片）混入の恐れ

弊社が製造している「〇〇（商品名）」において、原料容器のプラスチック片の一部が商品に混入した恐れのあることが判明しました。

当該商品をお召し上がりにならないようお願い申し上げます。

食中毒菌混入の例

（例5） 食中毒（黄色ブドウ球菌）の発生の恐れ

弊社が製造している「〇〇（商品名）」の一部に黄色ブドウ球菌が検出された商品があることが判明しました。お客様が食中毒の被害に遭う恐れがありますので、当該商品をお召し上がりにならないようお願い申し上げます。

（例6） 一般細菌（大腸菌）の混入の恐れ

弊社が製造している「〇〇（商品名）」の一部に基準値を超える一般細菌（大腸菌）が検出されたものが判明しました。お客様の健康被害を及ぼす恐れが懸念されますので、当該商品をお召し上がりにならないようお願い申し上げます。

食品のリコール社告(前文)の記載例②

健康被害の有無については、科学的根拠に基づき判断しましょう

品質不良の例

(例7) 加熱不良による腐敗の恐れ

弊社が製造している「〇〇(商品名)」において、一部商品で加熱不良により内容物が腐敗する恐れのあることが判明しました。

当該商品をお召し上がりにならないようお願い申し上げます。

カビ発生の例

(例8) カビの発生の恐れ

弊社が製造している「〇〇(商品名)」において、包装工程の不備によりカビの付着が一部に見られる商品があることが判明しました。

当該商品をお召し上がりにならないようお願い申し上げます。

誤った表示の例

(例9) 誤った賞味期限(実際より長い表示)の印字

弊社が製造している「〇〇(商品名)」において、実際より長い賞味期限を誤って印字し、販売していたことが判明いたしました。

なお、本来の設定期限を越えた商品をお召し上がりになった場合は、健康被害を及ぼす恐れがあります。

(例10) 誤った賞味期限の印字

弊社が製造している「〇〇(商品名)」において、実際より短い賞味期限を誤って印字し、販売していたことが判明いたしました。

なお、当該商品は、賞味期限内であればお召し上がり頂いても健康被害の恐れはございません。